

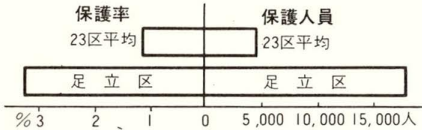
社会福祉

ひと口に「社会福祉」といっても、「ゆりかごから墓場まで」といわれるように幅が広く、多くの内容を持っています。ここでは、その中から生活保護、児童福祉、婦人福祉の3つをあげてみました。

1. 生活保護

経済的に恵まれず、自活してゆけない人たちに援助の手をさしのべる事業が生活保護で、これには、生活・住宅・教育・医療・出産・生業・葬祭の7種類の扶助があります。現在、区内には6800世帯、約1万8000の人びとが生活保護を受けており、都23区中一番多く、全国の被保護人員の1.24%を占めています。(44年4月1日現在)

生活保護の状況



※保護率 = (保護人員 ÷ 総人口) × 100

2. 児童福祉

ともかぜぎの家庭がふえる傾向にある今日、保育園や学童保育の必要性も増す一方です。区は、保育園の建設に特に力を入れ、昭和36年からことしまでに24園もつくりました。11月現在、区内には、区立保育園28、私立保育園19あり、約4000名が入園しています。また、学童保育クラブは小学校1・2年生の子どもを放課後5時まであずかる施設で、現在12か所開設しており、約400名が、このクラブに入会しています。

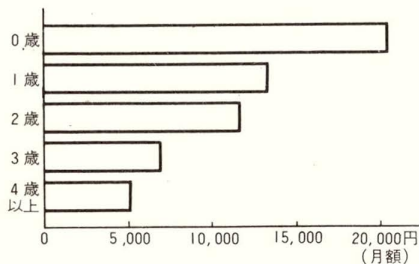
保育園への入園率

(昭和44年1月1日現在)



■保育対象児数は、都の推定基準(学齢前児童の10.54%)で算出したもの

保育児童1人に支出する区費



3. 婦人福祉

悩みごとなどについて、身近かに相談相手がいらない婦人のために、福祉事務所に専門の家庭相談員を置き、婦人の福祉向上につとめています。



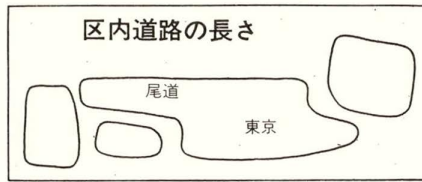
1. 道路

町づくり

区内の道路の長さは、約820kmで、これは東京駅から広島県の尾道駅までの距離に相当します。道路幅は平均5.1m(23区平均6.5m)

しがなく、文化の基準を示すといわれる道路率(道路総面積÷区総面積)も約8%(23区平均12%)ですが、現在行なわれている区画整理事業が全部完了すれば、23区平均を上回るものと予想されています。

一方、主要幹線道路は、国道4号線(日光街道)と環状7号線の2本しかないため交通渋滞がはなはだしく、放射11号線(小台一丁目→舎人四丁目)や補助100号線(千住桜木町→西新井橋→東伊興町)など、都市計画道路の早期完成が待たれています。

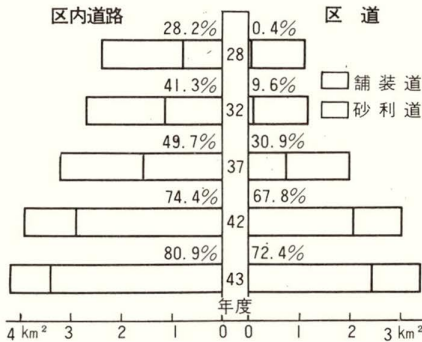


道路状況

(昭和44年4月1日現在)

区分	道路の長さ	道路の面積	道路率	平均幅
足立区	819,261m	4,201,437m ²	7.9%	5.1m
23区平均	445,000m	2,907,000m ²	11.7%	6.5m

道路の舗装状況

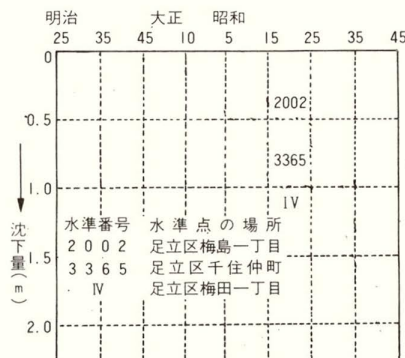


2. 地盤沈下と排水

低地帯であるうえに、工場の地下水汲みあげによって地盤が沈下し、また雨水を吸収する田畑が都市化によって急速に減るなど、水害がおきやすい悪条件が重なってきています。このため、区では、たくさん排水場をつくり、水害を防ぐよう努力しています。現在排水場は39か所あり、排水能力は毎時30万トン(霞ヶ関ビル半分の容積に相当)です。

また、地盤沈下を防ぐため、工業用水道を早く敷き、地下水の汲みあげ規制を強めるよう、国や都に要請しているところです。

地盤沈下量



3. 公園・児童遊園

数のうえでは23区内で一番多く、都立公園4か所、区立公園72か所、面積は両方で50万m²あります。また、児童遊園は92か所、面積5万m²。しかし、人口1人当たりの公園面積は約0.9m²で第8位になってしまいます。いまある区立公園のほとんどが区画整理組合から引き継いだもので、これからもたくさんできる予定ですが、「目比谷公園や代々木公園のように特徴ある大規模な公園を区内にも」という

声が強くと、都では66万m²の大都立公園を古千谷地区につく計画を進めています。

人口1人あたりの公園面積



4. 区画整理

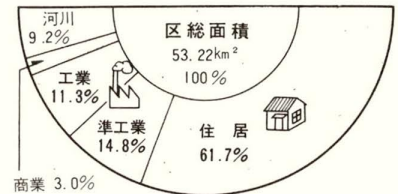
この事業は、都市計画に基づいて、入り組んだ町境や道路、水路などを整理し、公園などの公共用地を確保して住みよい町づくりを行なうものです。足立区は、緑地地域がたくさんあったことや土地不足という社会現象がおきてきたことなどによって、盛んに区画整理事業が行なわれています。現在、事業が完了しているところは10か所、施行中19か所、準備中3か所で、区総面積の3分の1以上に区画整理事業が施行されることになっています。

建築

都市計画の区域内(当区全域)は用途地域制といって、無秩序な市街地化を防ぐために、住居・商業・準工業・工業地域をそれぞれ指定し、その場所に建てる建物の用途を規制しています。また、ことしの6月、いままでの緑地地域は住居地域となり、都市計画施設が積極的につくられることになりました。

用途地域分類

(昭和44年6月14日現在)



公営住宅戸数

(昭和44年6月1日現在)

住宅別	都営住宅	公団	公社	合計
種別	1種	2種	その他	小計
戸数	3,924	8,836	2,879	15,639
				9,615
				988
				26,242

学校教育

よりよい教育効果をあげるには、教育環境の整備も重要なことです。

区では、全小・中学校の校舍を鉄筋化するとともに、年間約2000人から3000人も学齢児童がふえていますので毎年、学校を3~4校を新設し、また、さらに体育館やプールを全校につくると、教育施設の充実につとめています。

現在、区立の学校数は、小学校55、分校1、中学校25で生徒数は小学校約5万人、中学校約2万人です。

足立区の一日

(昭和43年、年度中)

